

お知らせ（学習ルート早見表）

～内部と外部を一枚に。SWOTで「勝ち筋」の土台をつくる～

全6頁です（前付け3頁＋本編3頁）。ラベル（【**最重要**】＝赤／【**重要・次点**】＝オレンジ／【**任意・深掘り**】＝グレー）を目印に、上から順にお読みください。

■ 本筋（必須）ルート：p1～p6

「SWOTの位置づけ → SWOTとは → 具体的な進め方」を、一本道で押さえます。本セクションに深掘り（任意）の頁はありません。



お急ぎなら、まず p5～p6。ここが本体です。

p5「SWOTとは」で4つの窓の意味を、p6「具体的な進め方」で手順をつかみます。p4 は、分析全体の中でSWOTがどこに位置するかを確認する全体像マップです。

※ 頁番号はスライド番号と一致しています（この早見表＝1頁目／スライド1）。

第3講 環境分析（外部）と重要課題の特定

～「外部の波」を捉え、解決すべき壁を絞り込む～

セクション1 マクロ環境分析：PESTEL （理論）	セクション2 ミクロ環境分析：ファイブ フォース（理論）	セクション3 外部環境の機会と脅威の特 定	セクション4 SWOT分析の実施	セクション5 実践：重要経営課題の特定
外部の「型」で世の中を読む	業界内の競争を5つの力で測る	追い風と逆風を切り分ける	★ 本セクション：強み×機会で 勝ち筋を描く	最優先で解くべき「壁」を絞る
1 なぜ今、マクロ環境を見るのか？	1 経営環境分析手法	1 外部環境分析の手順	1 経営環境分析手法とSWOT分析	1 導入：なぜ「絞り込み」が必要か（ブリッジ）
2 経営環境分析手法	2 経営環境分析プロセス	2 経営環境分析手法	2 SWOT（スウォット）分析とは	2 理論解説：重要経営課題（壁）とは
3 PESTELの各要素と地域市場への応用	3 ファイブフォース分析の意義		3 SWOT分析の具体的な進め方	
4 外部環境がもたらす影響事例	4 ファイブフォース（5つの力）とは			

★ は現在地（本セクション）。本デッキはセクション4「SWOT分析の実施」を扱います。

第3講 環境分析（外部）と重要課題の特定

～内部と外部を一枚に。「勝ち筋」の土台をつくる～

【初めに】

前のセクションで、外部の読みを「機会」と「脅威」に束ねました。残るピースは、内部の「**強み**」と「**弱み**」。これは前回の第二講で棚卸し済みです。いよいよ本セクションで、外部の機会・脅威と、内部の強み・弱みを、**一枚のSWOT**に統合します。バラバラだった分析が、ここで初めて一つの戦略地図にまとまる。SWOTは、**勝ち筋（SO戦略）**を描くための土台です。

1

SWOTとは何か

強み・弱み・機会・脅威の4つの窓で、自社の経営環境を一望する。

2

4つの窓の中身

内部（強み・弱み）はコントロール可能、外部（機会・脅威）は不可能。

3

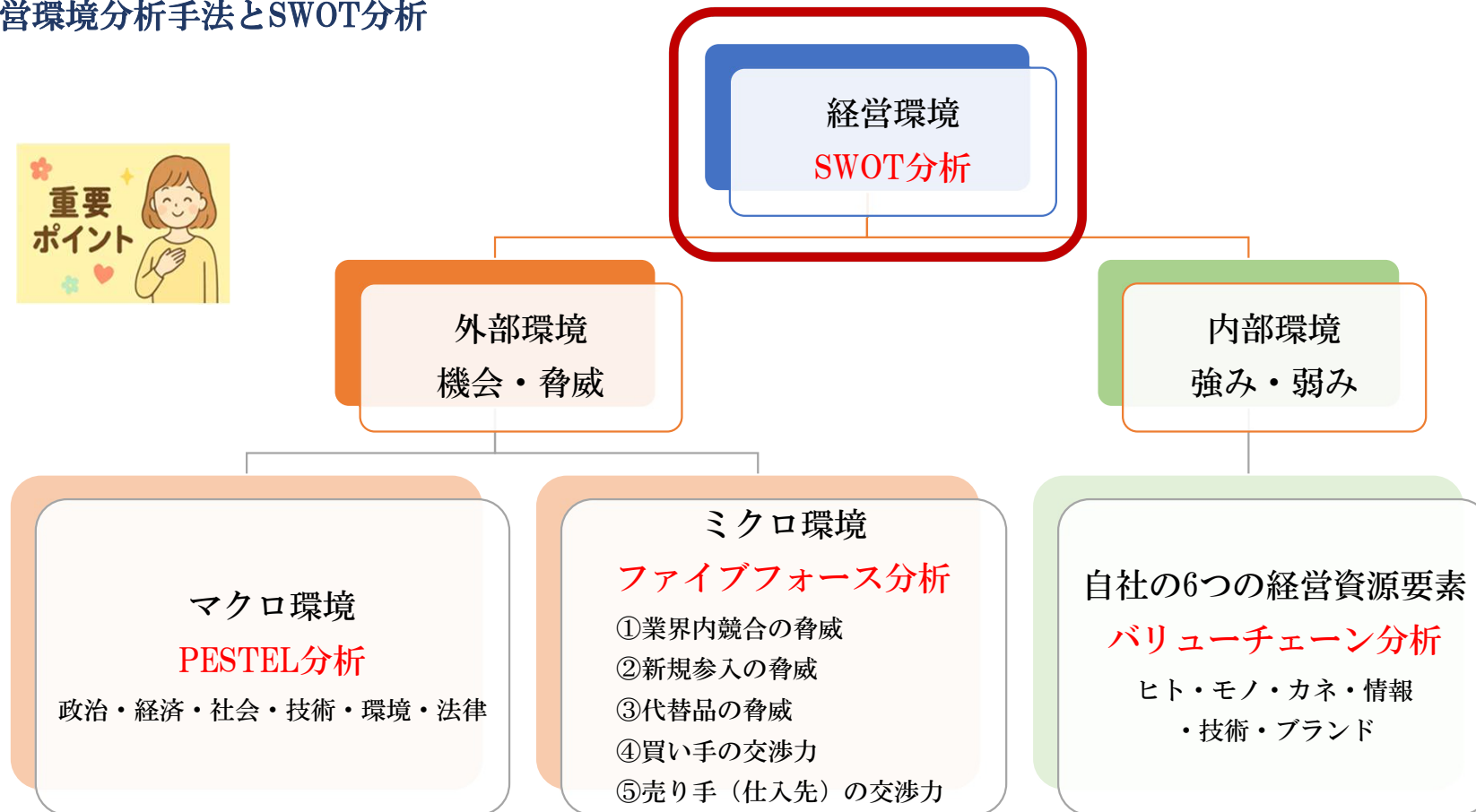
具体的な進め方

VCで内部、PESTEL・5Fで外部を整理し、4つの窓に流し込む。

集めた分析を、ついに一枚へ。**SWOTで、次の「クロスSWOT＝勝ち筋づくり」の土台を固めましょう。**

4 SWOT分析の実施

1 経営環境分析手法とSWOT分析



4 SWOT分析の実施

2 SWOT（スワット分析）分析とは

マーケティングにおける環境分析のひとつで、**強み（Strength）・弱み（Weakness）・機会（Opportunity）・脅威（Threat）**という4つの観点（パターン）で、自社商品やサービスを取り巻く経営環境を考査する方法です。

	プラス要因	マイナス要因
内部環境 コントロール可能	強み（Strength） 自社の持つ強みや長所、得意なことなど	弱み（Weakness） 自社の持つ弱みや短所、苦手なことなど
外部環境 コントロール不可能	機会（Opportunity） PESTLの変化等でプラスに働くこと	脅威（Threat） PESTL・5Fの変化等でマイナスに働くこと

ポイント：内部環境（**強み・弱み**）はコントロール可能／外部環境（**機会・脅威**）はコントロール不可能

4 SWOT分析の実施

3 SWOT分析の具体的な進め方

- ①バリューチェーン分析で内部環境（自社がもつ資産やブランド力、品質など）のプラス要因（**強み**）とマイナス要因（**弱み**）を特定します。
- ②マクロ環境分析・ミクロ環境分析で外部環境（自社を取り巻く、市場や競合、法律など）のプラス要因（**機会**）とマイナス要因（**脅威**）を特定します。
- ③ ①と②を統合します。
- ④SWOT分析は、**自社の成長に直結する戦略の方向性（事業戦略＝勝ち筋）**を考えるクロスSWOT分析の前提作業になります。

ステップ1：バリューチェーン分析

- ①バリューチェーン上の（S：強み）
- ②バリューチェーン上の（W：弱み）



ステップ2：外部環境の整理

- ①PESTEL分析や5フォース分析等
- ②追い風となる「機会（Opportunity）」
- ③リスクとなり得る「脅威（Threat）」



ステップ3：SWOT分析

- ①強み：強み・長所・得意なこと
- ②弱み：弱み・短所・苦手なこと
- ③機会：PESTELの変化等でプラスに働く
- ④脅威：PESTELの変化等でマイナスに働く